

## 2. 成果重視の施策展開

政策評価を予算の効率化等に適切に反映させるとともに、社会資本の戦略的維持管理、コスト構造改革の推進、ハードとソフトの連携、PFI手法の活用等により、成果目標の達成に向けて効率的な施策展開を図る。

### 《政策評価の的確な実施と予算への反映》

- 所管行政全般にわたり達成すべき目標をより国民にわかりやすいものとするため、13の政策目標、46の施策目標、216の業績指標に再編したところであり、この新たな体系に基づき、政策評価を的確に実施する。さらに予算書について、表示科目の単位を政策評価の単位と統一し、政策評価の結果を予算の効率化等に適切に反映できるよう見直す。

### 《予防保全的管理への転換による社会資本の戦略的維持管理の推進》

- 高度経済成長期に集中投資した社会資本の老朽化が進行し、今後必要な維持管理費、更新費が急増することから、それらに要する総投資額を最小化しつつ安全を確保するため、従来の事後的な管理から予防保全的管理への転換を推進する。

#### ＜具体的取組＞

- ◇国が管理する道路橋、河川管理施設等や国が所有する港湾施設について、長寿命化・延命化等に関する計画の策定等を推進する。
- ◇地方自治体が管理する道路橋、河川管理施設、下水道施設や港湾管理者が所有する港湾施設について、長寿命化・延命化等に関する計画の策定を支援する。

[参考] 建設後50年以上経過する社会資本の割合は今後10年間で急増

道路橋（約15万橋）：約6%（平成18年度） → 約20%（平成28年度）  
河川管理施設（水門、ポンプ場等）：約7,800施設）：約10% → 約23%  
下水道管きよ（総延長：約39万km）：約2% → 約5%  
港湾岸壁（約5,000施設）：約5% → 約14%

## 《重点的、効果的かつ効率的な社会資本整備に向けた取組の充実》

- 公共事業の構想・計画段階から維持管理までを通じて、投資に対して最も価値の高いサービスを提供（VFM最大化）するため、公共事業の構想段階における計画策定プロセスの透明性・公正性の向上、事業評価の厳格な実施、コスト構造改革の推進等の取組を積極的に展開していく。

（※VFM：Value for Moneyの略。投資に対して最も価値の高いサービスを提供すること。）

- ・事業の計画策定プロセスの透明性・公正性向上  
新たなガイドラインに基づき、事業の構想段階から住民の参画を図る等積極的な取組を実施する。
- ・コスト構造改革の推進  
現行の「公共事業コスト構造改革プログラム」終了後の平成20年度も、新たに策定するプログラムに基づき、コスト構造改革の取組を継続する。

## 《ハードとソフトの連携》

- 国土交通省の幅広い行政分野や多様な政策手段を活かし、ハード・ソフト施策を一体的に実施することにより、成果目標の効果的な達成を実現する。

### （連携事例）

- ・踏切対策のスピードアップ
  - 〈ハード〉交通渋滞等の大きな原因となっている「開かずの踏切」等に対する歩道拡幅や連続立体交差事業等の推進
  - 〈ソフト〉特急列車等の速い列車と各駅停車等の遅い列車に応じて踏切の警報時間を制御する装置（賢い踏切）の導入等による遮断時間の短縮
- ・雨に強い都市づくりの支援
  - 〈ハード〉下水道管理者と関係主体が一体となった雨水流出抑制施設の設置
  - 〈ソフト〉住民に対する降雨・浸水情報を提供するシステムの構築
- ・スーパー中枢港湾プロジェクトの推進
  - 〈ハード〉次世代高規格コンテナターミナルの整備、内航フィーダー輸送強化支援施設の整備に対する支援等
  - 〈ソフト〉次世代シングルウィンドウの構築、コンテナターミナルの出入管理システムの構築、国内物流ネットワーク構築に資する港湾物流サービスの検討等

## 《PFI手法の活用》

- 効率的・効果的に社会資本を整備・管理し、民間の資金・能力を活用する観点から、航空保安大学校の移転等PFI手法による整備等を行うとともに、補助制度等を活用した地方公共団体におけるPFI事業の推進を支援する。